

第4回 全国小・中学生障がい福祉ふれあい作文コンクール 受賞作品 講評

本会主催の本コンクールは、おかげさまで第4回を迎えました。毎年毎年、回を追うごとに、応募総数が右肩上がりに増えておりますことに、児童・生徒の皆様をはじめ、御指導いただきました小学校・中学校の先生方、御後援をいただきました厚生労働省、文部科学省、社会福祉法人 全国社会福祉協議会、一般財団法人 児童健全育成推進財団、全国特別支援学級設置学校長協会、全日本特別支援教育研究連盟の皆々様の御理解と御協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

本コンクールは、これまでの生活の中で障がいのある方とのふれあいや学校生活や福祉ボランティアなどの経験等を作文にすることで、障がいのある方の暮らしに関心を持ち、今後の福祉を考える機会を提供するとともに、次代を担う子供たちの心が豊かに生まれ、やさしいまなざしで共に支え合う社会を築き上げることができるよう、作文を通して、障がい福祉への関心を形成することを目的に実施しております。

さて、各都道府県協会における選抜を経て、本会に推薦されました作文の最終選考会が行われました。審査をしている中で、児童や生徒の皆様が作文用紙を前に、どの作品も一生懸命考えて考えて、一文字一文字丁寧に文字を書いたのだなと感心させられるものばかりでした。審査をしながら、「この素晴らしい作品を仕上げた児童や生徒は、どんな児童や生徒なんだろう。ぜひ会ってみたいな。」と思う作品ばかりで、改めまして審査に関わらせていただけたことをありがたく感謝しております。

コンクールということでやむを得ず、「厚生労働大臣賞」「文部科学大臣賞」「会長賞」「入選」という形で評価をさせていただきましたが、本コンクールに作文を提出してくださった全員の方々に、選考委員一同心より御礼を申し上げます。来年度も、作文を書いてくださった児童や生徒の皆様に出会いたくなるような、オリジナリティ溢れる素敵な作品を待っています。

選考委員代表 橘 文也

【選考委員会 委員名簿】

団体名（役職）		氏名	備考
後援団体	文部科学省 初等中等教育局（視学官）	丹野 哲也	
	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課（課長補佐）	福島 弘和	
	社会福祉法人 全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部（部長）	佐川 英雄	
	一般財団法人 児童健全育成推進財団（理事長）	鈴木 一光	
	全国特別支援学級設置学校長協会 （会計部長）	須田 淳一	板橋区立赤塚第三中学校（校長）
	全日本特別支援教育研究連盟 （常任理事）	永妻 恒男	さいたま市立大宮南中学校 （校長）
学識経験者	ルーテル学院大学 総合人間学部（教授）	西原 雄次郎	
	岡山大学大学院 法務研究科（教授）	西田 和弘	
	公益財団法人 日本知的障害者福祉協会（会長）	橘 文也	